

(様式2)

4 学校教育計画

項目		目標・方針、及び計画	
1	学習活動 重点1 ②③	目標	<p>①教育目標に掲げる、「高い知性」、「豊かな情操」、「強い身体」を目指した教育課程を展開する。生徒の進路志望動向や大学入試制度の動向を踏まえて、各教科と十分連携を取りながら、生徒の意欲を喚起するような教育課程とする。</p> <p>②学習指導要領により各教科・科目の目標を明確に把握し、各教科間の密接な連携を図りながら、生徒の能力・適性・進路の実態に即した適切な指導を行い、基礎学力の充実を期するとともに、自主的・自立的態度と学習習慣の定着と育成を図る。</p>
		計画	<p>①ほぼ全員が進学志望である実態に応じ、教育課程の精選と効率化に努める。2年次より文・理の類型を選択するが、教科内容や、単位数はいずれも適するものとなるように配慮する。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を図り、ICT 機器を積極的に活用するなど、わかりやすく、学習意欲が高まる授業を研究する。</p> <p>③学習実態調査を実施し、個々の生徒の実態を把握・分析し、学年・教科の教員間の共有を図る。また、面接などを通して望ましい学習習慣が定着するよう指導し改善を行う。</p> <p>④国語、数学、英語においては、多展開授業を実施し、その効果が出るように教科部会を定期的に開催し研究する。</p>
2	学校生活 重点2 ②③	目標	<p>①基本的な生活習慣を確立させ、自主自律の精神や向上心を育成する。</p> <p>②進んで公共のために行動できる態度を育成するために、社会性の伸長を図り、社会の一員としての自己を自覚させる。</p> <p>③個人面接や教育相談を充実させ、自己の在り方・生き方など生徒の自己形成への努力を支援する。</p>
		計画	<p>①登校指導や遅刻調査を通して、基本的な生活習慣の確立の支援に努める。</p> <p>②委員会活動において自転車の鍵かけ運動やあいさつ運動を行い、学校生活における自分の役割や責任を自覚し、目的意識を持って他者と協力して活動する力を育む。また、HR活動で「人権(いじめを含む)」について考えさせる機会を設け、社会的モラルを向上させる力の育成に努める。</p> <p>③学年集会やHR活動を通して、校則遵守など規範意識の向上を目指す。また、交通安全教室・防犯教室・薬物乱用防止教室、スマホ・携帯安全利用教室を実施し、法律や交通規則、SNSについて考えさせる機会を設け、法律を遵守すること、自他の生命を尊重することを意識させる。</p> <p>④教師と保護者が連携を密にして、生徒の生活実態や学校での状況等を把握し、生徒が抱える悩みを早期に発見し、その対応に努める。</p> <p>⑤組織的な教育相談の効果的活用を図るため、研修の機会を持ち、教育相談スキルの向上を図る。</p>

3	進路支援 重点3 ① ②	目標	<p>①人間形成に努めるとともに、生徒一人一人に自己のあり方・生き方を考えさせる進路指導を行い、積極的に社会と関わっていくことができる人間力の育成を図る。</p> <p>②生徒一人一人の進路志望の実現を図る。</p>
		計画	<p>①生活指導を基本とし、自発的・自律的に学習する力を養うために3年間を見通した進路指導計画を作成し、実施する。</p> <p>②学習状況の把握を目的として教科担当者を交えた学年検討会を開き、学年及び全教師集団による進路指導体制を確立する。</p> <p>③1学年では「新入生指導」・「先輩に学ぶ会」・「進路探究」、2学年では「進路探訪」など進路別講座制に伴う分野別研修を通して進路意識の高揚を図る。</p> <p>④各学年で進路を考えさせる効果的な進路講演会を実施する。また、適時適切な進路情報を提供しながら、自己の学力を把握させ、適切な目標を設定させることで学習意欲を高める。</p> <p>⑤面接指導を通して、生徒との信頼関係を深め、学習習慣を確立させるとともに、効果的な進路相談を行う。また、保護者との連携を密にする。</p> <p>⑥1、2学年では進路目標を実現するために必要な基礎学力を十分に定着させる。そのために十分な家庭学習時間を確保させる。3学年では明確な目標を持たせ意欲的に学習に取り組ませながら、自己の目標が達成できるように、効果的な指導を行う。</p>
4	特別活動 重点4 ①②	目標	<p>① 学校行事の企画や運営を通じて、周囲と協調しながら各自の役割を果たそうとする態度や健全な人間関係の育成を目指す。</p> <p>② 部活動を通じて、自主的・自律的な生活態度や生活習慣を身につけさせ、自己の能力を最大限引き出せるようにする。</p>
		計画	<p>① 学校行事の企画や運営にあたり、HR活動や生徒会活動を活性化させて、生徒間で様々な協議を重ねることにより、行事内容の改善や運営方法の工夫を行う。</p> <p>② 部活動においては、生徒が自主的・自律的な活動を行うことができるよう活動環境に配慮し、生徒が技能や社会性を伸ばせるように、適切な指導助言を行う。</p>
5	その他 重点5 ① ③	目標	<p>① 図書の貸し出し冊数を増加させ、本に親しむ生活を創造する。</p> <p>② 生徒の多様性に応じた、柔軟なカウンセリングと支援を行う。</p>
		計画	<p>① 図書館オリエンテーションや、図書館イベント、広報活動を通して読書の重要性と有効性を積極的に訴え、読書活動の促進を図る。</p> <p>② 蔵書および資料の充実を図るとともに、図書に関する情報を常時発信し、生徒や教職員の読書への関心を高める。</p> <p>③ 生徒の状況と必要性に応じて、スクールカウンセラーと巡回指導員及びスクールソーシャルワーカーを活用する。</p>